

# JVC

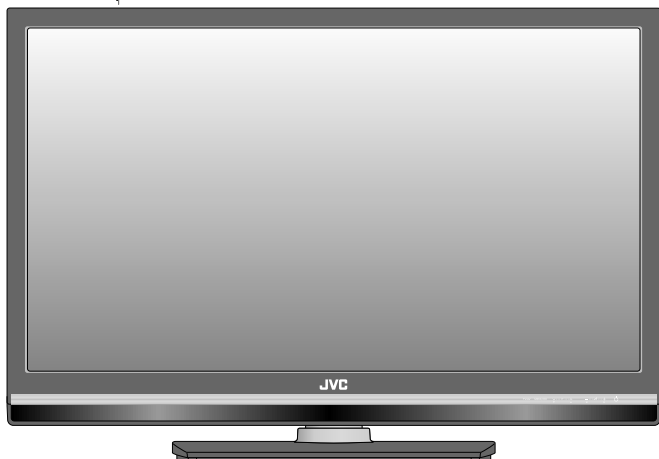
## GD-463D10

3D LCD モニター 取扱説明書



HDMI

HD  
ready  
1080p



お買い上げありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
特に「安全上のご注意」(1、2ページ)は必ずお読みいただき、安全にお使  
いください。


## 目次


はじめに	● 安全上のご注意..... 1 ● お手入れのしかた..... 3
準備	● リモコン..... 4 ● 各部の名称と機能..... 5 ● 設置・接続..... 7
見る	● 3D 映像をみる..... 9 3D 鑑賞時の注意点..... 9 円偏光メガネ使用時の注意点..... 9 3D 映像を見るには..... 10 ● ビデオ / DVD を視聴する..... 11 ● 便利な機能..... 12
設定	● リモコンの設定..... 13 ● メニューの設定..... 15 Picture..... 15 Features (サブメニュー)..... 16 Sound..... 17 Features..... 17 Set Up..... 18
困ったときは	● 故障かな?と思ったら..... 20 ● テクニカルインフォメーション..... 22 ● 保証とアフターサービス..... 23 ● 主な仕様..... 24

# 安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

## 絵表示の説明

 **警告** 「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容

 **注意** 「人が傷害を負ったり、物的損害が想定される」内容

### 注意、警告が必要なこと



### 禁止されていること



### 実行して欲しいこと



プラグをコンセント  
から抜く

## 警告

装置されている電源プラグ  
では、電源電圧（交流100V）  
以外で使用しないこと



本機の上に水の入ったものを  
置かない



電源プラグやコンセントに、  
ほこりや金属が付着したまま  
使用しない



不安定な場所に置かない



雷が鳴り出したら、電源ブラ  
グに触れない



風呂場などの水のある場所で  
使わない



電源コードを傷つけない



動作使用条件（温度、湿度）に  
注意して設置する



- ・電源コードを加工しない
- ・電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしない
- ・電源コードの上に機器本体や重い物をのせない
- ・電源コードを熱器具に近づけない

壁にかけるときは、販売店（専門  
の業者）に依頼する



本機の裏ぶた、カバー、  
キャビネットをはずしたり  
改造したりしない



壁にかけるときは必ず販売店（専門の業者）  
にご依頼ください。一般の方が行くと、落下  
して本機が破損するだけでなく、けがや感  
電の原因となり、大変危険です。

通気孔をふさがない



- ・じゅうたんや布団などの上に置かない
- ・テーブルクロスなどを掛けない
- ・横倒し、逆さまの状態で使用しない



## 次のことが起こった場合は

- 煙が出ている、異臭がする。
- 映像が映らない、音が出ない。
- 内部に水や物が入った。
- 落下などにより破損した。
- 電源コードが傷んだ。

電源を切る。

電源プラグをコンセントから  
抜く。

そのまま使用すると、火災や感  
電の原因となります。販売店に  
修理を依頼してください。



プラグをコンセ  
ントから抜く

## 警告

内部に物を入れない  
感電の原因となります。特にお子様には  
十分注意してください。



壁や他の機器と間隔をあけて  
設置する



放熱をよくするため、周囲との間に距離を  
保つようしてください。（※7ページ）  
本機は若干熱を帯びる構造になっていま  
す。過熱防止のため空間距離を保つとも  
に、取り扱いには十分気をつけてください。

本機の上に火のついたローソ  
クなどの裸火を置かない



電源プラグはコードの部分  
を持って抜かない



電源プラグはコンセントの  
根元まで確実に差し込む



電源プラグは、根元まで  
差し込んでみゆるみがあるコ  
ンセントには接続しない



ぬれた手で電源プラグを抜き  
差ししない



## ⚠ 注意

長時間使用しないときは、  
電源プラグを抜く



スタンドに設置するときは、必ず専用のスタンドを使用して、正しく設置する



スタンドを正しく取り付けしないと、床や本機を傷付けたり、本機が転倒したりする恐れがあります。

(☞7ページ「モニターを設置する」)

お手入れをするときは、  
電源プラグを抜く



スタンドに設置するときは、転倒・落下防止の処置をする



地震や不慮の事故などで、本機が倒れたり、設置場所から落下したりすると、本機が破損するだけでなく、けがや感電の原因となることがあり、大変危険です。スタンドに設置するときは、転倒・落下を防止するための処置をしてください。

(参考例: ☞Aページ「モニターを設置する」)

移動するときは、電源プラグや接続コード類ははずす



すべてのランプが消えていても、電源プラグがコンセントに差し込まれていると、本機には電力が供給されています。完全に電源を切るには電源プラグをコンセントから抜いてください。

主電源の入/切について



本機には電源スイッチは搭載しておりません。電源プラグを抜き差しして主電源を入/切してください。そのとき、本機をできるだけコンセントの近くに設置し、電源プラグを抜き差しするのに十分な空間を確保してください。



次のような場所に置かない

- ・ 湿気やほこりの多いところ
- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- ・ 熱器具の近くなど
- ・ 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ



液晶画面に衝撃を与えない(ものを当てたり、先の尖ったもので突いたりしない)



長時間、音が歪んだ状態で使わない



本機は重いので、必ず2人以上で持つ



1年に1度は内部の点検を販売店に依頼する



ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと聴力に悪い影響を与えることがあります。

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。その後、医師に相談してください。



注意

準備

見る

設定

困ったときは

# お手入れのしかた

## 画面

画面に「ムラ」「変色」「キズ」「欠陥」など、修理不可能な外観変化が生じる恐れがありますので、次のことに注意してください。

- のりやテープなどを貼らない
- ペンなどで書き込みをしない
- 硬いものにぶつけない
- 結露させない
- 表面の反射防止処理に影響があるためアルコール、シンナー、ベンジンなどの溶剤や中性洗剤、水でふかない
- 強くこすらない

画面の汚れを取り除く場合には、柔らかい布を使ってからぶきを行ってください。

## キャビネット

キャビネットが変質したり、傷ついたり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

- アルコール、シンナー、ベンジンなどの溶剤などでふかない
- 殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたまにしない
- 強くこすらない

キャビネットの汚れを取り除く場合には、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

光沢面のお手入れについては「モニターの光沢仕上げ面の取り扱い」(※6ページ)を参照してください。

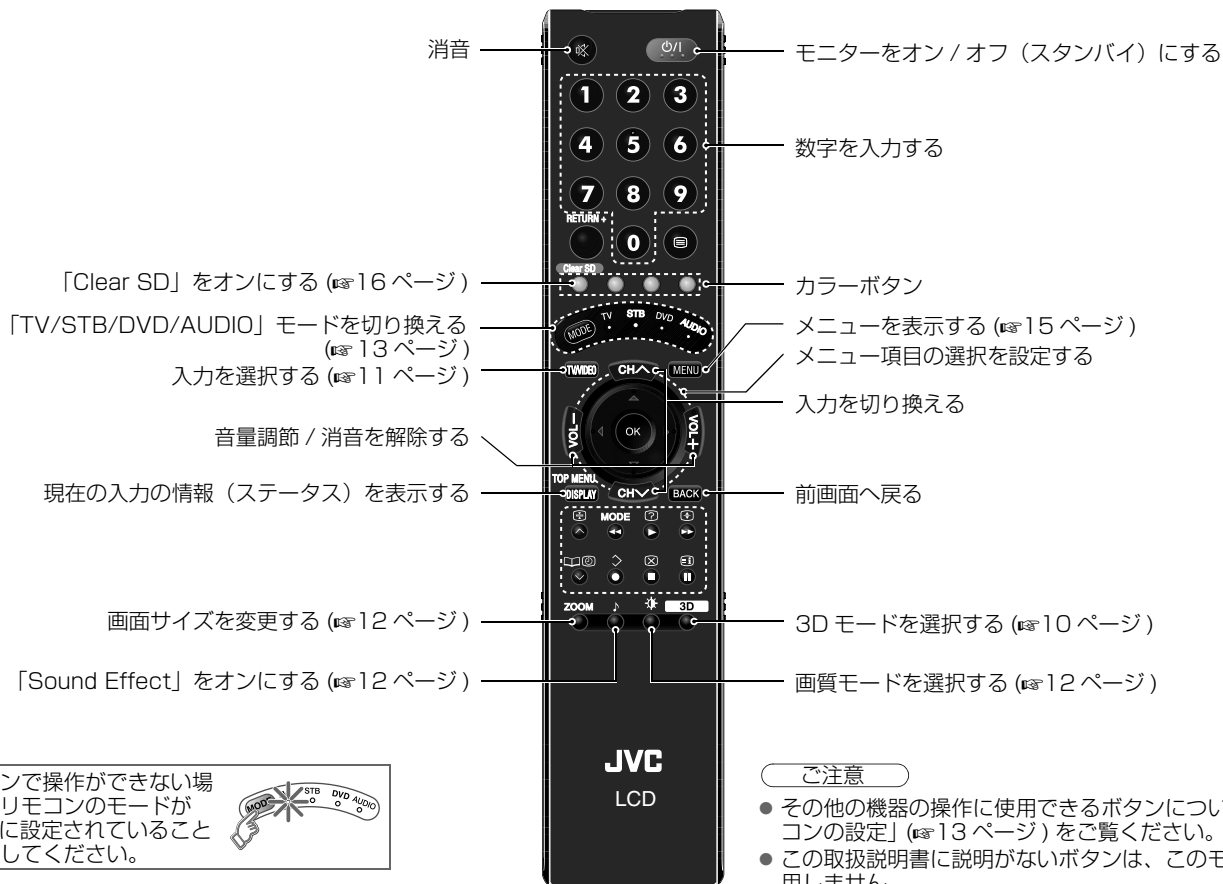
## 通気孔

通気孔に付着したほこりは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときには、布で拭き取ってください。通気孔にほこりが付着したまま放置すると、内部の温度が調節できなくなり、故障の原因となることがあります。

## メガネ

メガネの汚れを取り除く場合には、柔らかい布を使ってからぶきを行ってください。

# リモコン



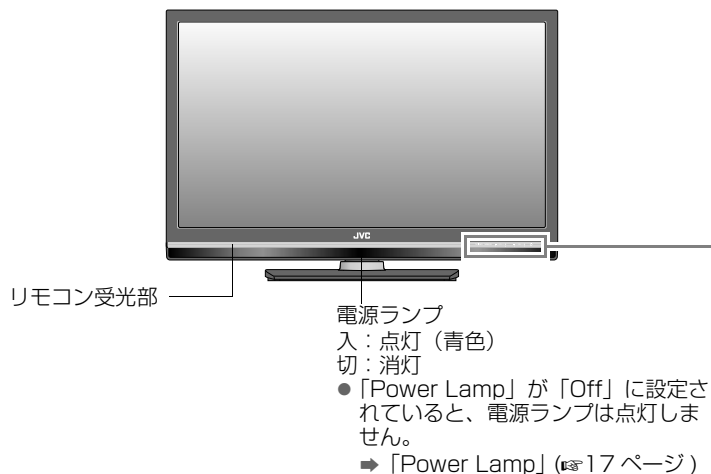
- リモコンで操作ができない場合は、リモコンのモードが「TV」に設定されていることを確認してください。



## ご注意

- その他の機器の操作に使用できるボタンについては、「リモコンの設定」(☞13 ページ) をご覧ください。
- この取扱説明書に説明がないボタンは、このモニターでは使用しません。

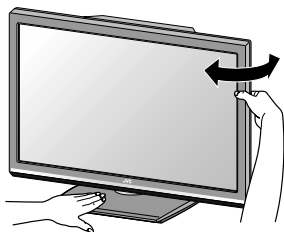
## 各部の名称と機能



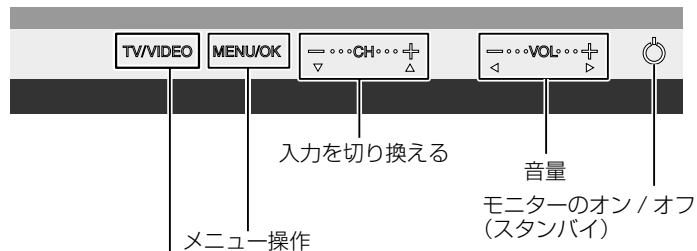
### ご注意

モニターを正しく設置したあと、モニターの光沢面に貼られている保護フィルムをはがしてください。(☞6 ページ)

## モニターの向きを変える



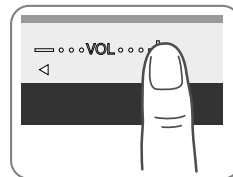
## タッチセンサーパネルを使って操作する



入力を選択する (☞11 ページ)

- **TV/VIDEO** と **MENU/OK** を同時にタッチすると、3D モードが切り換わります。

■ 機能名にタッチして操作する



- ボタンに正しくタッチするとピープ音が鳴ります。

■ メニューを操作する

**MENU/OK** は「MENU」ボタンまたは「OK」ボタンとして使用してください。

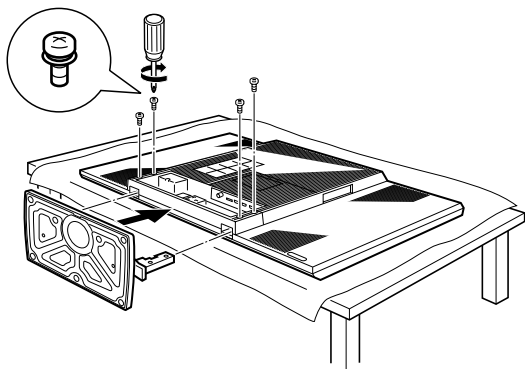
**≡…CH…≡** は▼、▲ボタンとして使用してください。

**≡…VOL…≡** は◀、▶ボタンとして使用してください。

- メニュー操作の詳細については、「メニューの設定」(☞15 ページ)をご覧ください。

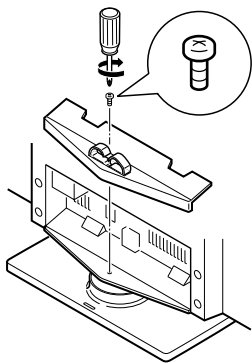
## モニターにスタンドを取り付ける

1



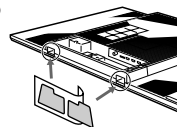
パネルに傷がつかないように、平らな場所に柔らかい布を敷き、その上にモニターを置いてください。

2



### ご注意

- スタンドを使用しないとき：  
付属のプレートを使って、テレビの下部にある2つの穴をふさぎます。プレートについている保護フィルムをはがしたあとに、プレートを台紙からはがして穴の上に貼り付けてください。

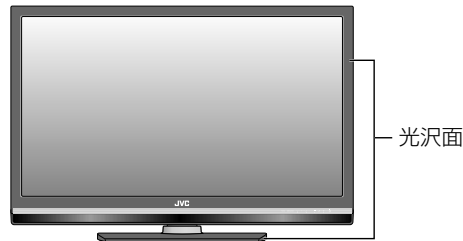


## モニターの光沢仕上げ面の取り扱い

### モニターの光沢面を取り扱う際はご注意ください

モニターの光沢面は容易に傷つく恐れがあります。

- モニターの光沢面には傷を防ぐため、保護フィルムが貼られています。モニターを正しく設置したあとに、保護フィルムをはがしてください。
- 光沢面が汚れた場合は、最初に光沢面のほこりを取り除いてください。そのあとに、付属のクリーニングクロスでそっと拭いてください。はじめにほこりを取り除かなかつたり、光沢面の部分を強く拭いたり、または付属品以外のクリーニングクロスを使用した場合は、光沢面が傷つくことがあります。



注意

準備

見る

設定

困ったときは

## 設置・接続

### 付属品を確認する



リモコン



クリーニングクロス  
(クリーニングクロスの使用  
方については、6 ペー  
ジをご覧ください。)



円偏光メガネ (x2)  
(3D 画像鑑賞用)



「単 3」乾電池  
(動作確認用)

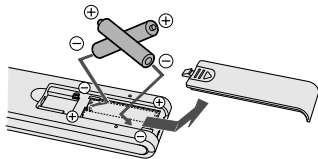
#### 注意：

電池は直射日光の当たるところや火のそばなど、高温になるところには置かないでください。

- スタンド、スタンドカバー、ねじ、プレートも同梱されています。詳細は 6 ページをご覧ください。

### 電池を入れる

「単 3」乾電池を 2 つ使用します。必ず ⊖ 側から電池を入れ、⊕ と ⊖ の極性が正しいことを確かめてください。



- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

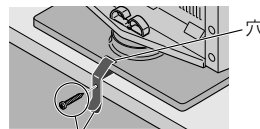
### モニターを設置する

6 ページの手順に従って、付属のスタンドをモニターに取り付けてください。

- 安定した平らな場所にモニターを置いてください。
- 電源について
- AC100V、50 Hz/60 Hz のコンセントのみ使用してください。

#### ■ 設置について

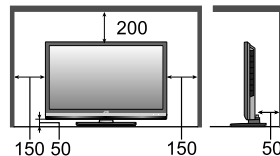
- モニターの落下を防ぐため、スタンド後部にある穴にバンドを通して置き台などに固定してください。



ベルトとねじ (付属されていません)

- モニターの過熱を防ぐため、周囲との間に十分な空間があることを確認してください。

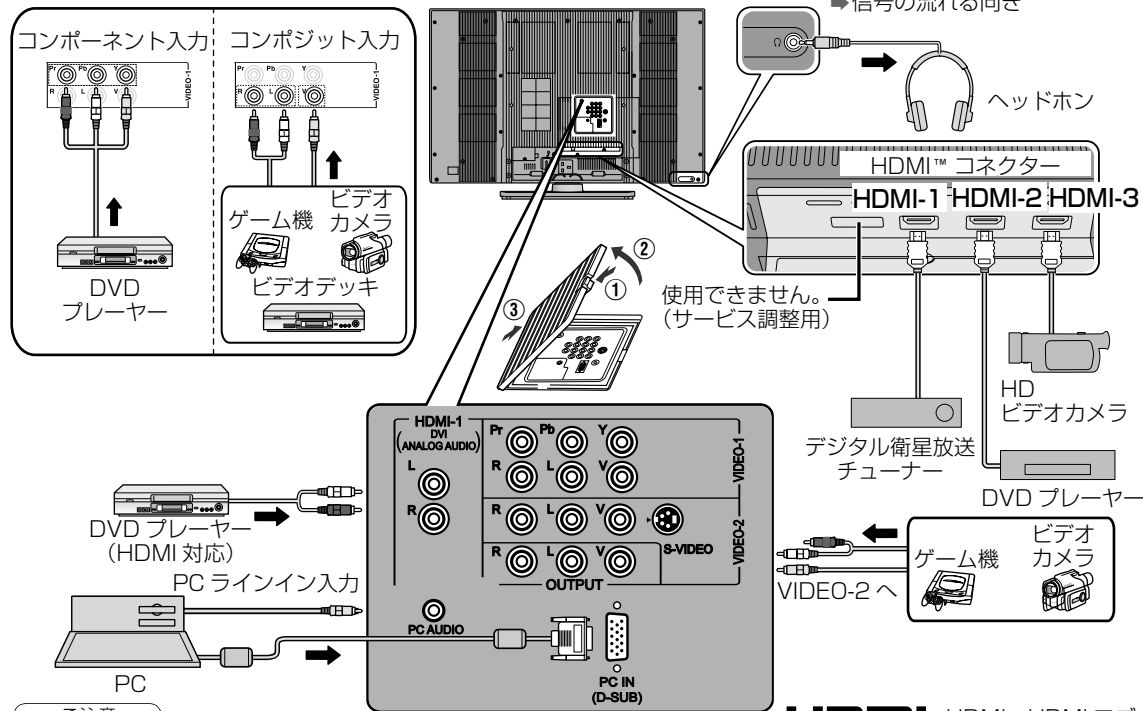
単位：mm





## 外部機器の接続

すべての機器とモニターの電源がオフになっていることを確認してください。  
モニターに外部機器を接続します。  
接続する前に各機器の取扱説明書をお読みください。  
(接続コードはこのモニターに付属されていません。)



- ノイズを抑えるため、VGA ケーブルはコア付きのものをおすすめします。

## VIDEO-1 映像を視聴する

出力 ↑	入力 ↓
	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンポジット信号 / コンポーネント信号 (※25ページ)</li> <li>音声 L/R</li> </ul>

- コンポーネント信号を使用する  
➔ 「VIDEO Setting」 (※19ページ)

## VIDEO-2 映像を視聴する

出力 ↑	入力 ↓
	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンポジット信号 / S-VIDEO</li> <li>音声 L/R</li> </ul>

- コンポジットと S 映像コードの両方を接続した場合は、S 映像入力にコンポジット入力が優先します。

## HDMI-1

## HDMI-2 HDMI 機器の接続

## HDMI-3

出力 ↑	入力 ↓
	<ul style="list-style-type: none"> <li>HDMI 信号 (※25ページ)</li> </ul>

- 「HDMI-1 Audio Setting」 ➔ (※18ページ)
- HDMI-2 と HDMI-3 の入力端子はアナログ音声をサポートしていません。

## OUTPUT

ご覧のモニターチャンネルの映像・音声信号はこれらの端末から出力されます。

出力 ↑
<ul style="list-style-type: none"> <li>コンポジット信号</li> <li>音声 L/R</li> </ul>

## ■ DVI 機器

- ➔ 「DVI機器の接続」 (※22ページ)

## HDMI

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。

## 3D 映像をみる

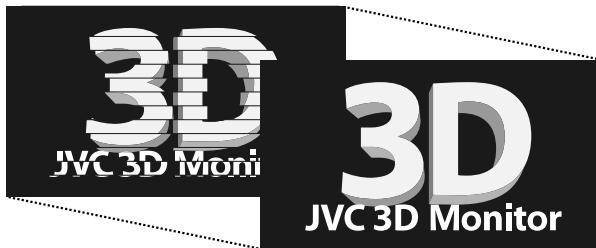
本機は、Xpol®\*1 円偏光方式 3D 液晶モニターです。添付の円偏光メガネを使用することで 3D 映像の立体的な鑑賞が可能になります。

\*1：Xpol®は、株式会社有沢製作所の登録商標です。

### 3D 基本原理

液晶モニターの走査線 1 ラインおきに偏光特性の異なるフィルターを貼り、フィルターを通過した右目（右円偏光）、左目（左円偏光）の映像を表示するとともに、円偏光メガネを通して右目用・左目用の映像を鑑賞することで立体視を可能にする方式。

1 画面上に常に左右の映像が表示されているため、チラツキのない 3D 映像表示が得られます。



### 3D 鑑賞時の注意点

- 3D 映像を鑑賞するときは 3D 映像を入力し、「3D」ボタンを押して適切なモードに設定のうえ、円偏光メガネを掛けて鑑賞してください。
- 3D 映像の感じ方は、個人差があります。あまり近くで鑑賞すると不快感／異常の原因になりますので、正面から 2 メートル程度の距離で鑑賞することをおすすめします。
- 画面を見る角度によっては、3D の効果に違いが生じる場合があります。
- 目の疲労、めまい、吐き気、頭痛などの不快感／異常を感じた場合は、直ちに使用を中断し休憩してください。定期的な休憩も取るようにしてください。
- 休憩しても症状が改善されない場合は、医師の診察を受けてください。
- 光過敏の既往症のある人、心臓疾患のある人は医師にご相談の上、鑑賞してください。
- 視覚機能の発達段階にある幼児の鑑賞は医師にご相談の上、鑑賞される場合は保護者同伴で鑑賞してください。

### 円偏光メガネ使用時の注意点

- 3D 映像を見るときのみ、円偏光メガネを掛けてください。
- 添付の円偏光メガネのみ使用してください。
- 普段メガネを掛けている方は、通常のメガネの上から円偏光メガネを掛けて鑑賞してください。
- 円偏光メガネをサングラスとしては使用しないでください。
- 円偏光メガネの接触する部位にアレルギーが出た場合は医師にご相談ください。

#### ご注意

- 円偏光メガネを追加で購入したい場合は、このモニターをお買い上げになった販売店へお問い合わせください。

## 3D映像を見るには

本機はLINE BY LINE（ラインバイライン方式）とSIDE BY SIDE（サイドバイサイド方式）の3D信号に対応しています。3D映像を見るときは、対応している3D信号を入力して、3D映像をお楽しみください。

3Dモードは以下の手順で起動します。

タッチセンサーパネル（[P.5](#) ページ）の **TV/VIDEO** と **MENU/OK** を同時にタッチします。

または

リモコンの「3D」ボタンを押します。（[P.4](#) ページ）



### LINE BY LINE （ラインバイライン方式）



入力信号

### SIDE BY SIDE 1 （サイドバイサイド方式）



左画面 右画面  
入力信号

ラインバイライン方式の3D映像とノーマル2D映像の入力時。



モニター画面

水平圧縮されたサイドバイサイド方式の3D映像入力時。



モニター画面

### SIDE BY SIDE 2 （サイドバイサイド方式）



左画面 右画面  
入力信号

非圧縮のサイドバイサイド方式3D映像入力時



モニター画面

#### ご注意

- 2D-3D変換機能はありません。通常の2D映像は「LINE BY LINE」に設定のうえ、2D映像でお楽しみください。
- サイドバイサイド方式にて3D鑑賞の際に、メニューなどの画面表示は左右どちらかの画面にのみ表示されます。見にくい場合は、メガネをはずして操作してください。
- 3D鑑賞時の3DモードおよびZOOMモード設定は下記にしてください。

入力信号	方式	3Dモード	ZOOMモード ( <a href="#">P.12</a> ページ)
HDMI	1080p	LINE BY LINE、 SIDE BY SIDE 1/2	Full Native
HDMI、 コンポーネント	1080i	SIDE BY SIDE 1/2	Full Native

- 3D鑑賞時にコンポーネント入力力で画像が二重に見える症状等のときは、下記の設定をしてください。  
Sharpness=minimum（[P.15](#) ページ）  
Clear SD、Digital VNR、DigiPure、MPEG Noise Reduction=Off（[P.16](#) ページ）

注意

準備

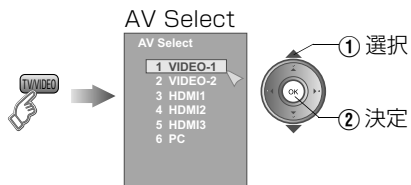
見る

設定

困ったときは

# ビデオ／DVDを視聴する

## 1 入力を選択する



例) VIDEO-1 の場合

## 2 接続した機器を操作して映像を再生する

■ モニター本体のタッチセンサーパネルで操作するには

- 1 TV/VIDEO をタッチします
- 2 ▽ と ▲ にタッチして選択します
- 3 MENU/OK をタッチします



# 便利な機能

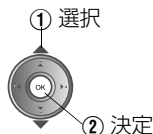
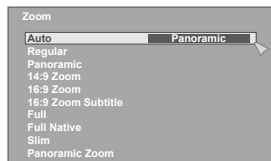


## ZOOM Zoom

画面のサイズを変える

1 ZOOM

2 画面のサイズを選択する



3 16:9 Zoom

このバーが表示されているときに、▲または▼を使って画像の位置を調節できます。

- 「Slim」を選ぶと、16：9に拡大された画像が、黒い帯の入った元の4：3のサイズに戻ります。
- 「Panoramic Zoom」を選択すると、黒い帯の入った4：3の画像が16：9のサイズに拡大されます。
- 「Full Native」⇒ 「Full Native」とは？ (P.22 ページ)
- 「Auto」を使う ⇒ 「Zoom」のAuto 設定 (P.22 ページ)

### ご注意

- 信号フォーマットにより、ある画面サイズのモードでは黒で表示されたり、選択できないことがあります。
- 元のサイズと違うサイズで映像を表示する場合、画像がゆがんだり画像の一部が切れたりすることがあります。

## Sound Effect

好みの音質に設定する



### Cinema Surround (P.17 ページ)

広がりのあるサウンドをお楽しみください。

- ヘッドホンを使用しているときは、「Cinema Surround」ははたらきません。

### MaxxBass (P.17 ページ)

低音を補い低音域に広がりを与えます。

- ヘッドホンを使用しているときは、「MaxxBass」ははたらきません。



### Picture Mode (P.15 ページ)

部屋の明るさやゲームをする際の状況によって、プリセットされた映像設定を選ぶことができます。

注意

準備

見る

設定

困ったときは

# リモコンの設定

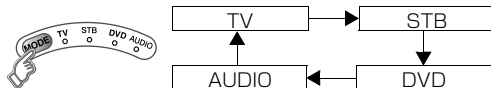
本機のリモコンを設定することで、他の機器を操作することができます。

## リモコンの設定をする

### 1 操作したい機器の電源を入れる

### 2 操作する機器に合わせてリモコンのモードを切り換える

- 対応するリモコンのモードについては、下記のリモコンコード表をご覧ください。

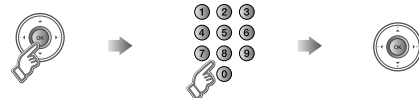


- リモコンを操作するたびに、インジケータが3秒間点灯します。

## ■ Victor/JVC 製品に対応するリモコンコード表

MODE	使用可能な機器	リモコンコード
TV	本機のみ。	
STB	使用できません。	
DVD	DVD プレーヤー	0503、0539、0623、 1241、1550、1602、 1701、1860、1863、 1940
	DVD プレーヤー / DVD レコーダー	1164、1275、1597
	ホームシアターシス テム	0623、1701、1860、 1863、1940
AUDIO	ホームシアターシス テム	0074、1374、1676、 2000、2001

### 3 リモコンコードを設定する



押しながら      4桁の数字を入力する      ボタンを離す

### 4 リモコンを操作する機器に向け、**電源が切れるかを確認する**

- 機器が反応しない場合は、他のコードを入力してください。

#### ご注意

- 設定したリモコンコードが使用できない場合は、「コード検索機能を使用する」(P.14 ページ) をご覧ください。



## コード検索機能を使用する

この機能を使って、すべてのコードを最初から1つずつ試していくことで、お使いの製品に合うコードを検索することができます。

### 1 操作したい機器の電源を入れる

### 2 操作する機器に合わせてリモコンのモードを切り換える

- **MODE** を押してモードを選択します。

### 3 コード検索機能を立ち上げる

- モードインジケータが点灯するまで、**OK** と **BACK** を押したままにします。

### 4 操作する機器に向けて、リモコンの **OK** を押す

- 反応がない場合は、**▶** を押して次のコードに切り換えます。再度、**OK** を押しください。機器の電源が切れるまで、上記の手順を繰り返してください。

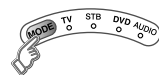
### 5 **BACK** を押してコードをリモコンに設定する

- モードインジケータが消灯したことを確認してください。

- コード検索機能を使用しても本機のリモコンが動作しない場合は、操作する機器側のリモコンをお使いください。Victor/JVC 製品の機器によっては、本機のリモコンで一部の機能が操作できない場合があります。

## 各ボタンの機能

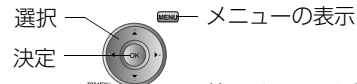
### ■ リモコンのモードを変更する



- 機器の電源をオン/オフにする

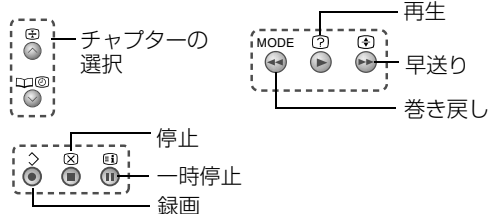


### ■ メニューの操作をする



TOP MENU (表示) → 前のメニューに戻るの表示

### ■ 再生/録画など



- 消音 → **MUTE** を押す

- 音量 → **VOLUME** を押す

- サラウンドモード選択 → **SR** を押す

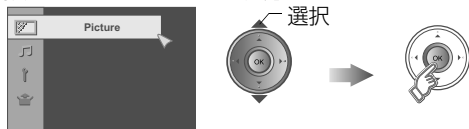
- 機器によっては、本機のリモコンで一部の機能が操作できないことがあります。



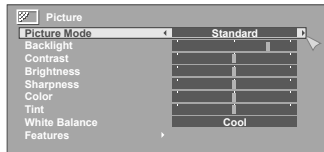


## 1 メニューバーを表示する

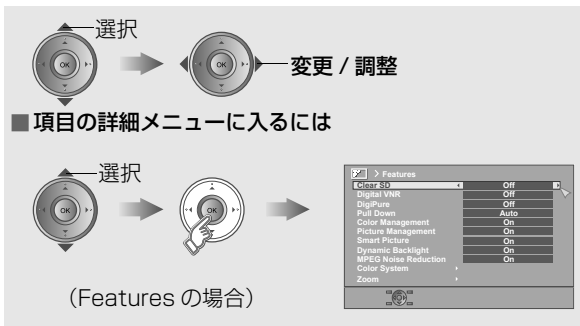
## 2 設定したいメニューを表示する



## 3 設定の変更または調整をする



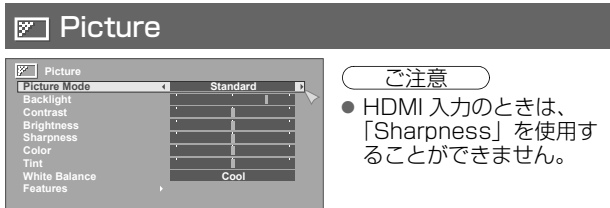
- 1分間なにも操作しないと、メニュー画面が消えます。
- 前画面へ戻る  
➡ **BACK**



## 4 メニューを閉じる



- ご注意**
- 動作環境（映像信号フォーマット、外部入力など）により、一部の項目が黒で表示されたり動作しないことがあります。それらの設定を変更することはできません。



### Picture Mode

部屋の明るさやゲームをする際の状況によって、プリセットされた映像設定を選ぶことができます。

- Bright** : とても明るい部屋
- Soft** : 暗い部屋
- Standard** : 標準的な明るさの部屋
- Game Mode** : テレビゲームをするとき

■ 選択した「Picture Mode」に対して、お好みに応じてより細かい調整をすることができます。

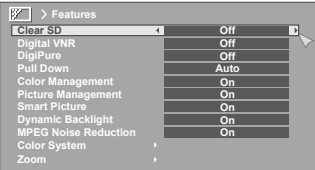
<b>Backlight</b>	バックライト (暗く ⇔ 明るく)
<b>Contrast</b>	コントラスト (低く ⇔ 高く)
<b>Brightness</b>	明るさ (暗く ⇔ 明るく)
<b>Sharpness</b>	シャープネス (やわらか ⇔ くっきり)
<b>Color</b>	色の濃さ (薄く ⇔ 濃く)
<b>Tint</b>	色あい (赤っぽく ⇔ 緑っぽく) (NTSCのみ)
<b>White Balance</b>	色温度 (Warm/Mid/Cool)

■ 初期設定値に戻すには ➡ (青)

**Features** ➡ 「Features (サブメニュー)」 (p.16 ページ)



## Features (サブメニュー)



### ご注意

- HDMI入力時は、「Clear SD」、「Clear SD」、「Digital VNR」、「DigiPure」、「MPEG Noise Reduction」を使用することができません。
- 「Picture Mode」が「Bright」に設定されているときは、「Smart Picture」を使用することができません。(※15 ページ)
- 「AV Select」が「PC」に設定されているときは、「Clear SD」、「Digital VNR」、「DigiPure」、「Pull Down」、「MPEG Noise Reduction」、「Color System」を使用することができません。(※11 ページ)

### Clear SD

よりクリアな画像にします (Off/Mode-1/Mode-2)

- 「Mode-1」または「Mode-2」を選択したときは、「Digital VNR」、「DigiPure」、「MPEG Noise Reduction」、「Picture Management」の設定をすることができません。

### Digital VNR

ノイズを軽減します

On : ノイズを軽減します      Off : はたらきません

### DigiPure

輪郭を自然にします

On : 画像を鮮明にしたいとき      Off : はたらきません

### Pull Down

映画フィルムをスムーズに再現します

On : フィルム撮影された映画を見るとき  
 Off : はたらきません  
 Auto : 映像に応じて自動的に機能をオン/オフします

### Color Management

映像を自然な色あいで再現します (On/Off)

### Picture Management

明るい/暗い画像を見やすくします (On/Off)

### Smart Picture

白色部分を見やすくします (On/Off)

### Dynamic Backlight

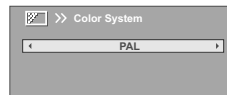
画面が暗いときにバックライトの明るさを軽減します (On/Off)

### MPEG Noise Reduction

MPEG 映像のノイズを軽減します (On/Off)

### Color System

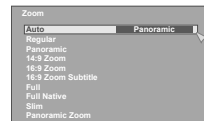
色が無いときに、カラー方式を変更します (PAL/SECAM/NTSC3.58/NTSC4.43/Auto)



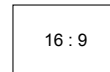
- ビデオなどの視聴時に「Auto」を選択してください。

### Zoom

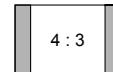
「Zoom」の Auto 設定で、画面サイズの初期値を選択します (※12 ページ)



#### Panoramic



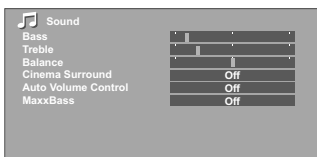
#### Regular



#### 14:9 Zoom



## 🎵 Sound



### Bass

低音を調節します（弱める ⇄ 強める）

### Treble

高音を調節します（弱める ⇄ 強める）

### Balance

左右スピーカーの音量バランスを調節します（左 ⇄ 右）

### Cinema Surround

広がりのあるサウンドにします（High/Low/Mono/Off）

- ヘッドホンを使用しているときは、「Cinema Surround」ははたらきません。

### Auto Volume Control

音声信号が過度に入力された場合に、自動的に音量を低くします（On / Off）

- ヘッドホンを使用しているときは、「Auto Volume Control」ははたらきません。

### MaxxBass

低音を補い低音域に広がりを与えます（Low/High/Off）

- ヘッドホンを使用しているときは、「MaxxBass」ははたらきません。

MaxxBass® は Waves Audio LTD. の登録商標です。

## 🔧 Features



### Blue Back

信号が弱いまたは無信号のときに、画面全体を青くして音を消します（On/Off）

- 3Dモードが「SIDE BY SIDE 2（サイドバイサイド方式）」に設定されているときは、「Blue Back」ははたらきません。（☞10ページ）

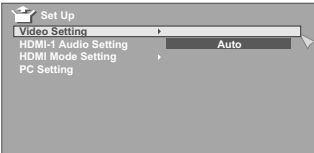
### Control Lock

本体ボタンでの操作を無効にします（On / Off）

### Power Lamp

モニターがオンの間、電源ランプを点灯します（☞5ページ）（On/Off）

## Set Up



### ご注意

- 「PC Setting」は「AV Select」が「PC」に設定されているときのみ設定できます。(※11 ページ)

### VIDEO Setting

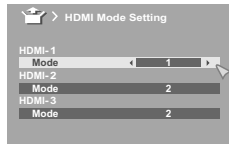
➡ 「VIDEO-1/2 の設定」(※19 ページ)

### HDMI-1 Audio Setting

HDMI 機器には「Digital」または「Auto」を、DVI 機器には「Analog」または「Auto」を設定してください。(HDMI-2 と HDMI-3 には使用できません。)

### HDMI Mode Setting

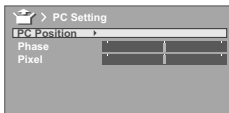
HDMI 入力の設定



画面に映像が表示されない場合は、「Mode」を「1」または「2」に設定してください。

### PC Setting

PC 入力の設定

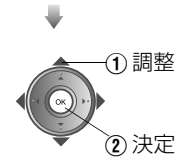
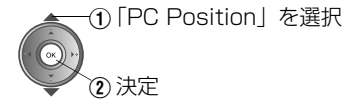
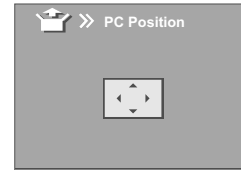


**PC Position :**  
画面の位置を調整します。

**Phase :**  
画面のちらつきや縞模様を、Pixel とあわせて調節します。

**Pixel :**  
画面のちらつきや縞模様を、Phase とあわせて調節します。

### ■ PC 画像の位置を調整する



- 位置のリセット ➡ (青)

注意

準備

見る

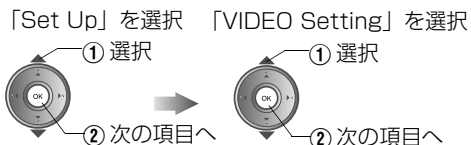
設定

困ったときは

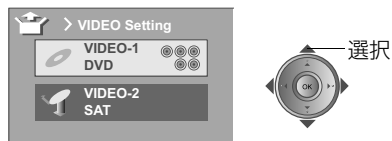
## VIDEO-1/2 の設定

## 1 「VIDEO Setting」メニューを表示する

メニューバーを  
表示させる



## 2 入力を選んでから設定する

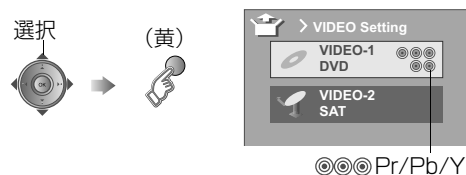


## コンポーネント、コンポジット間の入力を切り換える (◎◎◎Pr/Pb/Y、◎V)

① 「VIDEO-1」を選択



② コンポーネント入りに切り換える



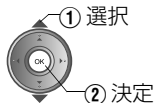
■ コンポジット入力に戻る ⇒ ② で ● (黄) を再び押す。

## 接続した機器の名前を編集する (ID LIST)

① 名前のリストを表示させる



② リストから名前を選択する



■ 名前を削除する ⇒ リストの空白を選択する

# 故障かな？と思ったら



トラブルの内容		解決するには
基本操作	リモコンの操作ができなくなった	● モニターの電源プラグを抜き、数分後に再び接続してください。
	画面サイズが急に変わってしまう	● <b>ZOOM</b> を押して元の設定に戻してください。 (P.12 ページ)
画面	PC 画面の位置がずれている	● 「PC Setting」を調整してください。 (P.18 ページ)
	黒点または白点が画面に現れる	● LCD パネルは画像の表示にファインドット (ピクセル) を使用しています。ピクセルの 99.99% 以上は正常に機能しますが、ごくわずかなピクセルが点灯しなかったり、あるいは常に点灯することがあります。機械の故障ではありませんのでご了承ください。
映像	映像の映りがよくない	● 「Picture Mode」の設定を変更してください。 (P.15 ページ)
		● 色あいが不自然 >>> 「Color」と「Backlight」を調整してください。(P.15 ページ) 「Color System」の設定を確認してください。(P.16 ページ)
		● ノイズ >>> 以下の機能を設定してください。 Picture Mode : Standard (P.15 ページ) Digital VNR : On (P.16 ページ) DigiPure : Off (P.16 ページ)
		● 画像がぼやける >>> 以下の機能を設定してください。 Picture Mode : Bright (P.15 ページ) Digital VNR : Off (P.16 ページ) DigiPure : On (P.16 ページ)

注意

準備

見る

設定

困ったときは

トラブルの内容		解決するには
映像	外部機器を使用したとき、映像の映りがおかしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 画像の最上部に歪みがある場合は、映像信号の質を確認してください。</li> <li>● DVD プレーヤーなどから 576p 方式の信号を受信したとき、映像の動きが不自然な場合は、外部機器の出力設定を 576i 方式に変更してください。</li> </ul>
	音声がよく聞こえない	● 「Bass」と「Treble」を調整してください。(P.17 ページ)
音声	接続されているオーディオ機器から音声が出ない	● HDMI-1、HDMI-2、HDMI-3 から受信された音声信号は、OUTPUT 端子から出力できません。
	一部の機能が動作しない	● 故障ではありません。状況により、一部の機能の項目が黒で表示されたり動作しないことがあります。(P.15 ページ)
HDMI	画面サイズが違う	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 接続する機器の取扱説明書をお読みになってから、以下の操作を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➡ 機器の出力設定が正しいことを確認してください。</li> <li>➡ 機器の信号フォーマットを別のフォーマットに変更してください。</li> </ul> </li> </ul>
	映像や音が出ない	● HDMIのロゴマークが付いているケーブルを使用してください。 <b>HDMI</b>
	映像にノイズが入る、または映像が表示されない	● 「HDMI Mode Setting」を「1」または「2」に設定してください。(P.18 ページ)

トラブルの内容		解決するには
HDMI	音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機器がHDMI規格に対応しているかを確認してください。</li> <li>● 「HDMI-1 Audio Setting」にて、HDMI 機器では「Digital」または「Auto」に、DVI 機器では「Analog」または「Auto」に設定してください。(HDMI-2 と HDMI-3 には使用できません。)(P.18 ページ)</li> </ul>
	画面が緑色になったり歪んだりする	● HDMI機器への信号フォーマットを切り換えたときは、信号が安定するまでしばらくお待ちください。
3D	3Dに見えない / 二重に映像が映る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3DモードまたはZOOMモードを調節してください。(P.10 ページ)</li> <li>● 3D/ZOOM モードを切り換えても正しく表示されない場合は、サポート外の3D信号の可能性ががあります。</li> </ul>

# テクニカルインフォメーション

## 表示可能な PC 信号

- PC の垂直周波数を「60Hz」に設定していないと PC 映像は表示されません。

解像度	640 x 480 (VGA)	1024 x 768 (XGA)
垂直周波数 (Hz)	60.0	60.0

## DVI 機器の接続

DVI 機器は、DVI-HDMI 変換ケーブルを使用して HDMI-1 に接続してください。DVI 機器のアナログ音声出力は、HDMI-1 (DVI ANALOG AUDIO) の L と R の端子に接続してください。

- 「HDMI-1 Audio Setting」を「Analog」または「Auto」に設定してください。⇒ (P.18 ページ)
- HDMI-2 と HDMI-3 の入力端子はアナログ音声をサポートしていません。

## 「Zoom」の Auto 設定

Zoom 項目で「Auto」が選択された場合は、画面サイズはモニターの受信情報から得たサイズとなります。

- 画面サイズは、WSS (Wide Screen Identification Signal)、映像信号、または外部機器のコントロール信号から得られるサイズになります。画面サイズの情報を受信していない場合は、「Zoom」(P.16 ページ)に設定されます。

## 「Full Native」とは？

- フル HD の LCD ディスプレイと「Full Native」により、解像度 1920 × 1080 のフルネイティブの HD 映像を視聴することが可能です。「Full」で視聴したときに隠れていた映像が表示されます。

Full



Full Native



- \* イラストは「Full」と「Full Native」の違いを強調したものです。
- 一部の映像を「Full Native」で視聴するとき、画面の端に黒帯またはノイズが出ることがあります。これは信号自体によるもので、モニターの故障ではありません。

# 保証とアフターサービス（必ずお読みください）

## 保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

## 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ、最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは

修理をご依頼になる前に、20～21ページの「故障かな?と思ったら」に従って確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

## ■ 保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

## ■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

## ■ ご連絡していただきたい内容

品名	3D LCDモニター
型名	GD-463D10
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせて
お名前	
電話番号	( ) -
訪問ご希望日	

## ■ 修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げの販売店 ( ) -
------	-----------------

## 愛情点検



### ●長年ご使用のモニター・ディスプレイ・テレビの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

- このような症状はありませんか?
- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
  - 上下、または左右の映像が欠けて映る。
  - 映像が時々、消えることがある。
  - 変なおいがいたり、煙が出たりする。
  - 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。



ご使用中

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談ください。

## お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。



# 主な仕様

本体	
型名	GD-463D10
使用電源	AC100V-240V、50 Hz/60 Hz
音声出力（定格出力）	10W + 10W
スピーカー	(4.5cm × 13cm) × 2
消費電力 [待機時]	210W [0.5W]
画面サイズ（有効画面の対角線の長さ）	116.8cm
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック端子（直径 3.5mm） × 1
動作使用条件	温度：0℃ -40℃ 湿度：20%-80%（非結露） （動作使用条件は設置環境により多少異なります。）
外形寸法（横幅×高さ×対角） [スタンド未装着時]	1071mm × 725mm × 275mm [1071mm × 680mm × 74.5mm]
質量 [スタンド未装着時]	26.9 kg [22.9 kg]
付属品	「付属品を確認する」(P.7 ページ) をご覧ください。
受信方式	PAL、SECAM、NTSC 3.58/4.43MHz
アスペクト比	16:9（ワイド）
液晶パネル	46V 型ワイド、アクティブマトリックス TFT
有効画面寸法（横幅×高さ）	1018mm × 573mm
表示画素数（パネル）	1920(水平) × 1080(垂直)
表示色数	1670 万色
コントラスト比（標準値）	2000:1

注意

準備

見る

設定

困ったときは

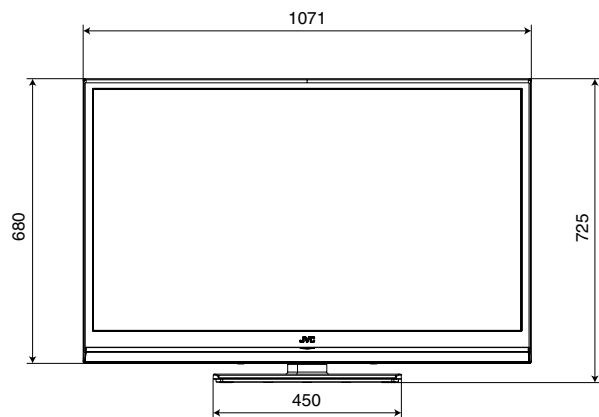
端子／コネクタ

端子名		端子型	信号タイプ (入力)	信号タイプ (出力)
入力端子	VIDEO-1	RCA コネクタ× 6	コンポジット映像信号、 アナログコンポーネント信号 480/60i、576/50i、480/60p、 576/50p、720/60p、720/50p、 1080/60i、1080/50i 音声信号 L/R	
	VIDEO-2	RCA コネクタ× 3 S 映像コネクタ× 1	コンポジット映像信号、S 映像信号、 音声信号 L/R	
	HDMI-1	HDMI コネクタ× 1	HDMI 480/60i、576/50i、480/60p、 576/50p、720/60p、720/50p、 1080/60i、1080/50i、1080/ 60p、1080/50p、1080/24p	
	HDMI-2			
	HDMI-3			
	HDMI-1 (DVI ANALOG AUDIO)	RCA コネクタ× 2	音声信号 L/R	
	PC INPUT	D-SUB 15 ピン端子× 1	アナログ PC 信号 VGA/60、XGA/60	
PC AUDIO	ステレオミニジャック端子 (直径 3.5mm) × 1	音声信号 L/R		
出力端子	OUTPUT	RCA コネクタ× 3		コンポジット映像信号、音声信号 L/R
	ヘッドホン	ステレオミニジャック端子 (直径 3.5mm) × 1		ヘッドホン出力

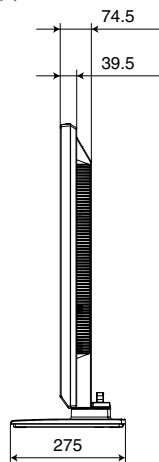
- 外観および仕様は、予告なく変更することがあります。
- 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張、省略、合成していますので、実物とは多少異なる場合があります。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

## 外形寸法図 単位：mm

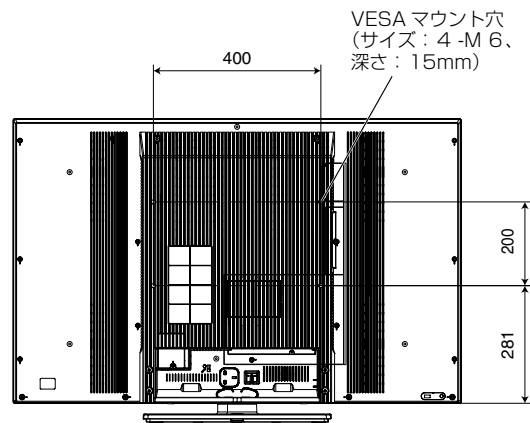
< 正面 >



< 側面 >



< 背面 >



### お知らせ

- モニター画面の角度は左右それぞれ 20 度調整することができます。

注意

準備

見る

設定

困ったときは

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記のご相談窓口にご相談ください。


ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、23ページをご覧ください。

修理に関するご相談

お買い物情報や全般的なご相談

23ページをご覧ください。

お客様ご相談センター

 0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (045) 450-8950

FAX (045) 450-2275

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12